

令和6年1月

関係者各位

特定非営利活動法人 ezorock

代表理事 草野 竹史

### 令和6年能登半島地震について

この度の令和6年1月1日（月）に発生した能登半島地震により被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔み申し上げます。

特定非営利活動法人 ezorock では、北海道内各地の環境問題などの地域課題の現場に、青年層のパワーやアイデアを届け、ともに地域づくりに取り組む活動を展開しています。

2011年の東日本大震災、2018年の北海道胆振東部地震における支援活動の経験から「災害支援は、災害が発生してから活動を開始するのではなく、普段から顔と顔の見える関係づくりを行っていることが重要」という思いから、これまで若者が地域づくり活動に参加する機会を継続的に作り出してきました。

今回、1月1日に石川県で発生した能登半島地震においては、当団体スタッフの出身地であることや、団体がこれまで行ってきた事業による繋がり等があったことから、現地から届けられた支援ニーズを元に、様々な団体と連携しながら支援活動を行っています。

現在実施している支援活動および今後予定している活動は下記の通りです。

- ① 現地で展開されている子どもの居場所づくりの後方支援活動
- ② 現地団体からのニーズに対応する支援活動
- ③ 集落の教科書を中心とした長期的な支援活動と繋がりづくり

※集落の教科書：移住者に向けた地域密着型地域紹介冊子。京都府、石川県、北海道等にて刊行されています。

このような展開を行う中、日常的につながりがある方々から、当団体への寄付等ご支援のお申し出もいただいております。本当にありがとうございます。当団体としましては、支援方法は私どもの活動も含み様々な方法があり、ご支援する方の気持ちやつながりによって、寄付先に関する情報提供なども行っています。

当団体の考えは、今回の災害支援時のみに限らない、日常的な各地との信頼関係構築が重要と考えております。支援先の選択肢のひとつとして当団体にいただいた寄付金等については、直接的な被災地支援だけでなく、今後も関わり続けるボランティアにかかる派遣費用や被災地への日常的な支援に必要な資金として活用させていただきたいと考えております。当団体の考えをご理解いただき、活動を応援いただける方は、事務局までお問い合わせください。